

陽ざしが緑の苔に 季節の到来には な陽光が西に傾 たば

1

D

や

2 44 0) 足

指及そ

沢

木於



葉の間

か





春のお彼岸中日法要

日 時 3月20日 ①・ 紀

午前10時半 安穏廟法要

春季彼岸法要…本堂

おとき(どなたでも当日受付)

午後 1 時 法話…大広間

お彼岸は春秋2回、陽気も良くなり昼夜の時間が同じ になるこの日、心の偏りをなくして仏様の教えを修行しま しょうという古くからの行事です。どうぞ皆さんでお出か けください。



ご判さま「お大会」

お稚児さん

日 時 4月29日 生

午前8時半受付開始

江戸時代からの伝統行事。花と緑の境内を雅楽の先 導でお練りの行列が続きます。お気軽にお参りください。 ※出仕のお稚児さん募集中。どなたでもお申込みいた だけます。

(詳細は別紙"「ご妙判」お大会のご案内"を)



月例信行会

毎月第一日曜日 午前7時~9時

会 費 千円(各自賽銭箱にお願いします) 予約申込み不用。当日直接お寺へお越し下さい。 お参り、法話、作務、朝粥の朝食、コーヒータイム等が あり、交流の輪も広がります。

お寺でヨガ

日 時 4月20日金・5月18日金・6月15日金

間 午後2時~3時15分

参加費 一回700円

持ち物 ヨガマット、もしくはバスタオル

講師ノリコさん

冬の間お休みしていたヨガですが、4月より再開です。 毎月第3木曜日。日程をご確認のうえご参加ください。 ※どなたでも参加できます。予約制ですので、その都度 電話での連絡をお願いします。

連続浄土講座

別紙ご案内をご覧いただき、気軽にご参加ください。

一日研修

日 時 6月18日 🗎

午前9時~午後3時30分

参加費 4,000円

申込〆切 6月20日

数珠の持ち方からお経の読み方まで。初心者と複数 回参加者をクラス分けするので、どなたでも心配なく参 加いただけます。現住職最後の研修会となります。





ついに法灯継承の年が、やってまいりました。そして継承の 秋に『妙の光』も復刊100号を迎えます。あまりの区切りの良 さに、気付いた時はびっくり致しました。まるで計画したかのよ うですが、もちろん偶然です。正直言って、年4回みんなで必 死で作っておりまして、計画する余裕はありません。100号と 法灯継承特別号の企画も検討中です。今年も『妙の光』を、 よろしくお願いいたします。(新倉理恵子)



母を看病した少女時代

羽生ヒロ子さんは、旧西蒲原郡吉田町に 4人姉弟の三女として生まれた。 畳職人の 父は家族を養うため仕事一筋、黙々と働く 人だった。母は病弱で入退院を繰り返し、 命の危機も度々だった。小学生のヒロ子さ んは、2人の姉と交代で学校を休み母の 看病をした。子どもたち全員を親戚に預け る話も出たが、家族別々の生活は避けた いと願い、一心に母の快癒を祈った。

このころある宗教への誘いがあり、ワラ にもすがる思いで入信した。病気の母は活 動できないため、小学生だった姉とヒロ子 さんが集会に参加した。しかし中学1年の とき、納得できない思いがつのり退会した という。

結婚と夫の死

高校卒業後、以前から希望していた経 理事務所の事務員として職を得たヒロ子さ んは、同じ会社で働く伸一さんと結婚した。 ともに行動することが多く、不思議と自分 はこの人と一緒になるような気がしていた という。

婚約中のある日、伸一さんが仕事先で 突如倒れた。脳腫瘍が見つかり、手術も 幾度かに及んだ。自分と結婚しても苦労す るだろうと思った伸一さんから、婚約破棄 の申し出もあった。しかしヒロ子さんは「私 がいなければこの人は助からない」と強く 思い、結婚を決意した。

24年に及ぶ闘病生活のうち10年程は体 調も良く、義父母の農作業を2人で手伝っ た。田植えや稲刈りは全て手作業で、農 業の知識がまったくないヒロ子さんは苦労 した。でも伸一さんと一緒だから乗り越え られた、と当時を思いかえす。その伸一さ んは今から20年前に他界された。

商工会議所に経理指導や相談役として 復帰したヒロ子さんは、懸命に働いた。学



校に通う2人の子どもの世話は、まだ元気 だった義父母がしてくれた。その義父母も 持病があり入退院を繰り返した。その介護 では苦労もしたが、亡きあとは義父母の支 えがあったからこそ今があると、感謝して いる。

妙光寺世話人に

2年前に、地区の世話人を引き継いだ。 経理の経験を活かして、『法灯継承式』で は会計係を担当する。

以前にも増してお寺との縁が深まったの を機に、昨年は生前法号もいただいた。「そ の戒名に夫の戒名と同じ文字が入っていた ので、いつも夫と一緒にいるという気持ち がさらに強くなりました」と語る。嫁いで からずっと朝の仏壇参り、仏飯やお供えを 欠かさず、最近はお経も唱える日々だ。

茶店を開店

子どものころから自分の店を持つのが夢 だった羽生さんは、今年2月、自宅の一 部を改装し『茶店さとやま』を開店した。 コーヒーや紅茶、抹茶などの他、ヒロ子さ ん手作りの `けんさ焼き、(生姜味噌を塗っ た焼きおにぎり)も食べられる。

「仕事の区切りがついた今、地域の人たち の憩いと交流の場になればと思っていま す。お寺での色々な人との出会いも、6人 の孫の成長も楽しみです」と素敵な笑顔 で語られた。 (鎌田記)

『茶店さとやま』火、土曜定休。10時~17時西蒲区福井1281番地(隆崇寺向)

分の三力寺巡拝

なった。 買い『大黒堂』と名付けた。葬儀もできる 妙光寺『京住院』 額な電気料まで維持管理が大変だそうだ。 階建て鉄筋コンクリートの超モダンなお寺に 資金も潤沢だったので、エレベーター付き3 を余儀なくされ郊外に移転。 と。爽やかな笑顔が健在で、私も嬉しかった。 よう改修したところ、 れられず、 ぎる場所にあった。 丸3年、 お寺は以前、 まず大分空港から訪ねたのが常妙寺。 4月から4年間妙光寺に勤務された永石まず大分空港から訪ねたのが常妙寺。09 人のお寺である。 ところが今では、 すっかり住職が板についておられた。 隣接地の中古住宅を土地付きで 大分市の中心街の賑やか過 の温もりある快適さが忘 しかし再開発で立ち退き お父さんから引き継いで 檀信徒に大好評とのこ 日々の掃除から高 バブルの時代で

妙光寺本堂の弟分

語る。

た。その時に、 間もないころだった。 風で崩れ落ちたのは、 職不在の寺で、荒廃した本堂の屋根瓦が台 中の寺が亀山住職の神力寺。 檀信徒も少なく、 大分市内とはいえ幹線道路から外 ここも長年 れた山

という。 堂の趣で、 建替えにこぎつけた。やや小ぶりな妙光寺本 計士に相談し、 妙光寺を設計した中澤・飯島両設 しかも進化してさらに洗練された 妙光寺の本堂が思い浮かんだ 数年越しの壇信徒寄付金で 本堂再建には困り果て 亀山住職が入寺して

らに樹木葬型の『桜葬墓地』を展開している。 は私の助言で大分安穏廟を軌道に乗せ、

ここはもともと住職不在の寺で、

敷地も狭

つ帰路に着いた。

と味覚を堪能し、

妙光寺の未来を語り合いつ

旅の参加者は三住職も交えて大分の温泉

廟』が門前に建つ妙瑞寺を参拝。

菊池住職

さ

『安穏

目は妙光寺より一回り小さい

大分安穏廟の寺

私たち夫婦を含めて13名による2泊3日参拝の旅がこの冬行われた。 いつも行事をお手伝いいただく方たちとの何気ない会話から、 結果敷地は4倍に増え、きれいに整備もした。 や檀信徒の寄付、 て欲しいという話が相次ぎ、 後継者のいない農地が多い。 大ショッピングセンター 撃を受ければ倒壊しそうな古いままである。 いる長男の時代になりそうだ」とにこやかに した。さらに寺の周囲は市街化調整区域で しかしここ数年で近くを高速道路が通り、 「本堂の建替えは立正大学仏教学部で学 今でも雨漏りする本堂は、 借金も重ねて応えてきた。 もできて地域は発展 農地を寺で買っ 安穏廟の収益 台風の直



日本一の温泉県とも聞くし、

食事も美味しそう」

「よく妙光寺に来てくださる大分のご住職のお寺にお参りしたい

妙光寺在勤 4年

強い協力体制

年内に梵鐘もできるという。

お手伝い 住職良恵とも縁を紡ぎ支えていただけると 長男も1週間近く滞在して汗を流 三住職には、 常妙寺の永石 力寺の亀山 妙瑞寺の菊池住職は私より10歳若く、 こうして確実に次世代に繋がり、 本当に心強い いただいている。 住職はさらに10歳年下。 毎年夏の妙光寺『送り盆』 住職はもっと若い世 昨年は菊池住職の 代だ。この してく そして を

つお寺なので、 裏に、安穏廟を模した永代供養墓『帰命の塔』 た仏師も同じ方である。 いるみたい」 庫裡は昔のままで、 山を背にすっくと立っていた。 と言われたが、 目の前に広がる平野が心地良 柱も傾いている。 実は仏像を彫つ 高台に建



「まるで妙光寺

光

めざすは 継承記念茶会_

まり利用されずに時を経てきましたが、数年前、妙光寺茶道部、が発足し茶室はみごとによみが 妙光寺には、昭和29年、 後の首相石橋湛山が訪れた時に建てられた茶室があります。その後はあ

えりました。昨年は整備工事が行われ、茶室は「湛山亭」と名付けられて、行事のたびにお茶席

が設けられています。「湛山亭」に魂を吹き込んだ茶道部のみなさんに、お話をうかがいました。

きっかけを教えてください。 では最初に、妙光寺とのご縁の

今はこちらが良くなってしまいました。 にわがままを言って安穏廟に納骨しま すが日帰りでお墓参りをするのはきつく になります。 東京に家の墓はあるんで 知人に妙光寺を教えて頂いて、 二〇〇〇年に会員になって、数年 「一時的に」と言っていましたが、 夫が亡くなって、この秋で13回忌

が必要だと考えていた時に、 ていまして子どももいるのですが、お墓 前檀徒になりました。 私は呉服店をし お客さまに

> 智恵子 を知ったのは、新聞記事がきっかけでし 安穏会員の方がいて勧められました。 して、お墓を探していたんです。 うちは私が友人に相談したり 安穏廟

満 になりました。 に「決断のときが来た」と感じて檀徒 行会にも2人で通うようになり、4年前 お世話になることにしました。そして信 めました。見に来たら、私も気に入って そうなんです。 妻が主導でここに決

中原 初めは「お墓はいらない。 私は夫が長く闘病生活をしてい 海か山に

> その後夫は12年前に亡くなりました。 緒ではないので、お墓を探して安穏廟に て言ったんですね。 日夫がふっと「一緒の墓に入りたい」っ 散骨」と考えていたんですけれど、ある 決めました。すぐに2人で檀徒になって、 散骨してしまえば一

時に父が「お母さんが安穏廟を気に入っ 探しました。とにかく四十九日までに がなかったので妹と2人でお墓を慌てて 岩野 私は急病で母が亡くなって、 嫌だなぁと思って迷っていました。 そんな 合葬墓も見たのですが皆さん一緒の形は みつけたいと必死になって、よそのお寺の お墓

> 羽 豆 です。そして私は一昨年、檀徒になり と私たちとみんなで安穏会員になったん 目見てすっかり気に入って、父と妹一家 ていた」と思い出しまして、 私と綾さんは、中学高校時代6 妙光寺を一

接客の仕事をしていて、5年ほど前はか 時に誘われて妙光寺を訪ねて、泊まらせ なり悩んで辛い時期がありました。 を訪ねることはなかったんです。私は今、 年間同級生でした。でも学生時代は家 もらったりして、みなさんとも知り合っ 救われた気持ちになりました。



小川聡子さん(74歳) 茶道裏千家の師範。茶道 部の指導を務めている。 現在は裏千家淡交会新 潟支部幹事長の要職にあ る。安穏会員



中原美智子さん(80歳) 安穏会員になると同時に

安穏会員から数年前檀徒

に。智恵子さんの夫。文

添田智恵子(71歳)

安穏会員から数年前檀徒

に。満さんの妻。文中では

中では「満」



岩野洋子さん(65歳) 安穏会員から数年前檀徒

渡辺トメさん(71歳)

生でもある。

安穏会員から数年前檀徒

に。茶道部の着付けの先

塚野元子さん(60歳) 茶道裏千家の師範。小川 聡子先生のお弟子さん。 いつも茶道部指導をお手 伝いしてくださっている。

羽豆まりのさん(29歳)

住職の四女綾さんの友

人。「送り盆」スタッフから

茶道部員に

で来るには本当に大変でした。 をするようになりました。まぁ、ここま 点前に取り組んで、行事のたびにお茶席 の展覧会ですね。初めは裏でお茶を点 のお茶席は二〇二三年秋の渡辺隆次さん 都合の付く時は皆さんとご一緒したいと てて運ぶだけでした。 それから皆さんお 私は記録をつけていますが、 教えて頂くことにしました。 最初

どういう事情からですか?

妙光寺茶道部が始まったのは、

茶道は皆さんにとっては、どんな ものですか?

光寺のお嬢さんが、

きちんとした所作で

、を開けたてしているのを見かけたんで 。これは躾の行き届いたお寺だと感心

綾さんか玲さんだと思いますが-

どなたかわからないんですが-

大晦日の法要に出席し

も多い。それから、

妙光寺に通うよう

害関係なくお付き合いできる人たちがい

をかけて頂きました。仕事もあるので、

しかも年配の方と接して教わること

室もお道具もあるということがわかって、

しました。その後、うかがってみると茶

りませんか」と声をかけてみました。 これはもったいないと思って、皆さんに「や

お茶を始めてからは、 かったので、自分が変わったと思います。 構えられるような趣味を持ったことがな 道は、まったく別の世界です。 どっしり 正座と袴には慣れていました。 に暮らしていたかを痛感させられます。 事なんです。今まで自分が、どんなに雑 心の表現ですね。まず、 私は居合と剣道をやっていたので、 お茶は本当に、「おもてなし」 動きに気をつける 日常の所作が大 でも茶

寺にあったお道具の目録作りをしました

4年前だと思います。

私は実

一番初めは、信行会の後で、

茶道部に入ったという覚えはないん

信行会の後でお稽古をするよ

智恵子 ます。 主人はお茶を始めてから、 本当に茶道部には感謝してい 心持

日曜日の信行会に参加していまして、

私もお経を習いたくて、毎月第一

うになり、

そのまま流れで、

教えて頂く

ちが変わりました。主人にとっては、と

所作が美しすぎて、 と日々反省しています。 先生方の日常の 直して、私ってこんなに雑だったんだ…… 羽豆 私も、毎日の自分の生活を見つめ ても良かったと思います。 勉強になるんです。 拝見しているだけで

渡辺 にしています。 きました。着物の事は渡辺さんを頼り 今日の着物も、古いものを染め直して頂 着付けも渡辺さんから教えて頂 私ここに集まっている皆さんは、 ~2回お稽古をしています。

加させて頂いています。 お手伝いしたいなぁと思って、 私もそうなんです。だからやれる範囲で 本当に妙光寺が好きな方ばかりです。 私は二十年以上、 小川先生に教 楽しく参

いんです。 楽しみ方ができるのがいいところだと思い 道具は美術品だし、お香とも関わってい ます。空間を楽しむものなので、様々な 家族みたいな存在です。茶道は間口が広 えて頂いています。 先生は私にとっては、 お茶を頂くだけでなく、

> てもらっています を指導してくれると思って、 私に何かあっても彼女が妙光寺茶道部 塚野さんは頼りになる人です。 ずっと手伝っ

それでは、今後の妙光寺茶道部の

活動は? ど若い部員の方と、 です。 6月には、羽豆さんや良恵さんな することになって、今から特訓する予定 お茶室「今日庵」に行きたいと計画し そこで立席のお運びを妙光寺茶道部が 新潟の白山神社にお出でになります。 実は4月10日に、裏千家家元が 京都の裏千家家元の

Q 良恵上人も、茶道を嗜んでいる んですね?

3席設けて、紅白のお饅頭を点心にし でやりたいですね。 薄茶のお茶席を2~ 後で、「法灯継承記念茶会」を妙光寺 なあと思っています。 していただいて、 開会するというのがい 一番最初に良恵さんにお点前を はい、もちろんです。 法灯継承の

ざいました。(聴いた人 それは、楽しみです。今日はありがとうご 編集部·新倉理恵子)



改修工事中

大玄関廊下板の張り替えと、土間の石貼り工 事が始まりました。さらに快適で、きれいになっ ていく妙光寺です。





山梨県立博物館にて

山梨県立博物館のワークショップで、妙光寺提供 の、蓮の花かざり、作りが大好評でした。1月末から 1か月間、極楽浄土の仏像と絵図を展示した特別展 『浄土憧憬』の一環として企画され、妙光寺が協力 依頼されたものです。事前に訪ねて来て打合せ、「当 日は子供から大人まで、たくさんの人で賑わいまし た」と、後日博物館から丁重なお礼が届きました。





厄除け祈願祭 2月4日 3、5日 8

今年は2日間で約50人の厄除け祈願を行いました。一人ひとりに 加持祈祷のうえ、お札とお守りが手渡されます。



地元角田地区の檀信徒さんが集まって、今年初めて のお経会。団扇太鼓を打つ手にも力が入ります。



ひと足早く、春を告げる境内の花々







寺のうごき





大晦日とお正月

年末年始は雪のないおだやかな日和でした



降っていた雨も11時にはやんで、たくさんの方がお参りに来られました。10 代、20代の若い人たちの姿が多く、賑わいました。



除夜の鐘を撞いた後、人気の福引に家族連れの行列ができました。



年始のあいさつに来られる皆さんを住職が迎えます。近年は三世代そ ろってのご家族が増えています。



恒例となった妙光寺お茶クラブによる『お茶席』のおもてなし。



住職夫妻も来客の合い間をみて一服。



角

誌上法話 小川英爾

らを灯明と 自 法を灯明とせよ

『白灯明・法灯明』の教え

80歳を超えてご供養の、きのこ、で食あたりされ たお釈迦様に、弟子のアーナンダが尋ねました。「お 釈迦様亡き後、私たちは何を頼りに進んで行ったら よいのでしょうか」。お釈迦様は「私の死んだ後、自 らを島とし、自らを依りどころとし、法(教え)を島 とし、法を依りどころとし、他を島とせず、他を依 りどころとしないで生きるべきである。」と説かれま した。

暗闇の中の灯りも、大海や川の中の島も私たちに とって頼りにする依りどころです。独立した一人の人 間として、自分自身の言動に責任を持つ。そのとき、 正しいか間違いかの判断を、他人の言動ではなく、 お釈迦様の教えである仏法を依りどころとしなさい ということです。

インドでは教えを象徴するものを「島」と表し、 これを中国では「灯明」と訳しました。他人の言動 に惑わされず、仏法を依りどころにした自分自身にし たがえという元の意味は同じです。

『法灯』の継承

お寺の役割はお釈迦様とその宗派の開祖――妙 光寺では日蓮聖人一の教えを伝え広めていくことで す。そのお釈迦様の教えを象徴する『法の灯』が妙 光寺では代々の住職により、53代700年間にわた り護り継がれてきました。この度の『法灯継承式』は、 まさにお釈迦様と日蓮聖人の教えを次の時代に繋げ

ていくことを意味するものです。

具体的には本堂で、前住職が仏様に向かい退任 の奉告をし、払子と呼ぶ仏具を新住職に手渡します。 新住職は仮宿である檀徒総代宅から本堂に迎え入 れられ、このとき払子を受取り、仏様にこれから妙 光寺を担っていく決意を奉告します。

1200年間『不滅の法灯』

お釈迦様のお教えを象徴する実際の『灯明』が、 1200年間消えずに引き継がれているお寺があること をご存知でしょうか。最澄が開いた天台宗総本山・ 比叡山延暦寺です。ここは日蓮聖人はじめ法然、道 元、親鸞といった鎌倉仏教の開祖が学ばれた所で、 日本仏教の母と呼ばれています。

その『灯明』は根本中堂に灯されて、朝晩必ず菜 種油を継ぎ足して護り続けられています。細心の注 意を払っているそうで、うっかりして、なんてことは ないのですが、『油断大敵』なる言葉はここから出 たと言われます。

実は安土桃山時代の1571年、織田信長による比 叡山焼き討ちで不滅の法灯は消えてしまいました。 しかし現在も当時も、法灯は各地に分灯されており、 この時は山寺で知られる山形県の立石寺から分灯し て戻されたそうです。

妙光寺の『法灯継承式』後の清興に出演する落 語家、露の団姫、さんは、日蓮宗にゆかりの深いこ の天台宗の僧侶でもあります。楽しくて深いお話が 聞けることでしょう。

お問い合わせください 7月) でお知らせします。 参加費とバス等のご案内は次号

『浄土講座』 始まる

妙光寺浄土化計画の一環で、

気楽

でのようです。せっかくの慶事ですの

まだ決めかねているという方もおい

で、できる限りご希望に添いたいと存

します。 これからの方は早めに電話で

いよいよ始まります。 同封チラシをご に参加できる講座を考えてきました。

改修工事進む

『法灯継承式』満席に

の合板からヒノキに張替え中です。 い上がる埃で部屋がすぐに汚れて困っ 関の土間も劣化でデコボコになり、 な客殿大玄関の廊下板を、これまで 度は湿気による腐食で抜け落ちそう 費を見ながら暫時進めています。 住職交代に向けた改修工事を、 伝統的な本三和土は高

を超え、

寺院と来賓関係を100名

予定していますので、総数500名以

上になります。 新住職の門出に相応

しい場になります。

心から感謝申し上

の参加申込をいただきました。

本堂 多数

11月18日の『法灯継承式』に、

準備の都合上早めのご案内を

とホテルの参加希望者は合計400名



年会費の口座引落準備中

コンビニは手数料が高額となり、 から、コンビニにできないか」 とのご しています。 最近 「郵便局は不便だ 年会費等の払込を郵便振替でお願い 『妙の光』を郵送している方々には 風合いの優しい石張りにしま 思案の結果、 コンクリ トでは味気無いもの 札幌軟石という

はあります。 るようですが、 ました。竹林の完成には5~6年かか いように地中にステンレス板を巡らせ にしか伸びません。 また根が広がらな 13mの高さになるところ、この新品種 外に、孟宗竹を植えました。 通常は 『ヒメアケボノモウソウチク』 は8M程 さらに昨夏改修した講堂の円窓の 植えた直後でも風情

をおかけしたことをお詫び申し上げ の改修工事が完了しました。ご心配 きた陥没による傾きは、 「安穏廟・杜の安穏」の一部で起 基礎杭から

にある若干の予備で、対応していくこ 今後は最初の『安穏廟』(古墳型) また日経新聞夕刊に紹介されました。

2区画になりましたが、今回新潟県 内の月刊情報誌『キャレル』2月号、 『杜の安穏・池の上』満杯です 『池の上安穏廟』が現時点で残り

行口座からの引落しが比較的安価で の際はご協力をお願いします。 お知らせいただく必要があります。 の場合最初の一度だけ、 皆さんにも一番便利とわかりました。 現在手続きを進めていますが、 口座番号を







小川なぎさ

「仕切りなおしの人生をはじめよう!

700年の歴史を持つ妙光寺にとって、今年は特別 な年になりそうです。およそ45年ぶりの住職交代が 行われます。11月の継承式に向けて、昨年から準備 が始まっています。ご前様が元気なうちの交代に、少 し違和感を感じられることもあるかも知れません。ま た初めての女性住職に抵抗があるかたもいらっしゃる かもしれません。娘がよもや住職になるとは!一番驚 いているし、最後まで反対したのも、リョウケイさん を育てた私自身です。

4人姉妹の長女ですが、跡継ぎ? と意識して育て たことは一度もありません。でも名前は4人の中で唯 一当時の身延山の法主様に頂いたもので、こうなる 運命だったのかなと今になって思います。

走り続けて34年、これからも・・・

寺庭婦人生活も、34年目を迎えます。家庭では なく寺庭! ―― 住職との結婚によってこのような立 場になったわけですが、とことん走り続けたし、いつ もいつも24時間営業のお寺中心の生活と、夫ではな く住職という人との暮らしに泣いたこともたくさんあ りました。辛くてね。

今はすでに霊山浄土にいらっしゃるたくさんの先輩 がたを思い出します。ここに踏みとどまれる力を、た くさんもらいました。お寺の台所で料理を作るとき、

楽しい話題で大笑いをし、悩みを話せる友人のような 人々。暖かい人間関係の数々に助けられて来ました。 ありがとうございました。

この寺庭からの拙文も、残すところあと3回となり ました。今後寺庭婦人でなくなる私の立場や役割がど う変わっていくかはまだわかりませんが、ご前様とと もに引退! はオアズケだと思います。なにセリョウケ イさんには私のような奥さんがいないので。

3回目の人生の始まり

総代夫人の幸子さん――私は彼女がいなかったら、 行事ごとの料理を作り続けることができなかった、そ れくらい大事な人です。その彼女が先日の飲み会で 「この頃さ、私の人生ってなんだったんだろって思うこ とがあるんだわ」とつぶやいていました。この言葉に はジーンと来た。やられたわ。

考えるに、嫁ぐ女性は結婚という大きな変化で、そ れまでの自分の人生を1回手放して、異文化ともいえ る婚家の環境で長い時間を暮らす。還暦を迎えるこ ろ、あれ一! とようやく自分の存在に気がついてしま う。これがきっと3回目の人生の始まりだよね。

ともあれ、女の私たちには定年はないかもしれな いけれど、時には自分中心の、静かな暖かい穏やか なひと時をもてる生き方を模索中。出来ればこの先 のおまけの人生が、宝物のような時間になりますよ うに!

焼香の作法に、よく戸惑います。 正しい作法を教えてください。



焼香は古代インドから続く伝統的な行為です。衛生環境の面から、お香で匂いを消したり、 消毒をしたりしたことに由来します。焼香をすることで、心身を清め静かな気持ちで仏様やご 先祖様にお参り出来るのです。また、亡くなった方の魂は四十九日の間、この世界に留まり、 香りだけを食べていると言われてます。その為、お香を捧げることで供養をしているのです。 よく尋ねられるのが焼香の回数ですが、宗派や地域によって異なります。日蓮宗では基本的 に法要を勤める導師(僧侶)は3回、参列者は1回とされています。焼香台の前で仏様に合 掌・一礼し、親指と人差し指でお香を軽く摘んで焼香し、最後に合掌・一礼をして、席にお 戻りください。大切なのは回数に拘ることでなく、心を込めて焼香することです。

しまう…と息を潜めている皆さん。 法事のときはクシャミや咳払い きっと清々し 緒に、「南無妙法蓮華経」 も遠慮して

護されるとい からも大きな声でお経やお題目を唱えて いき

お寺の中ではい

ブルに注文を取り ぐ傍の席から聞こえたと思った」 に行

まい



大きな声で、





